

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創 立:1963年 3月 22日

例会場:パレスホテル大宮

例会日:月曜日12:30~13:30

会 長 藤嶋 剛史

幹 事 横溝 一樹

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

第2803例会 2023/12/11

発行日 2023/12/22

会長挨拶

会長 藤嶋 剛史



本日は、聖路加国際病院 小児科部長 小澤様、大宮ろう学園 原田校長先生、磯山先生、ようこそお越しくださいました。今年はテーマとして児童および青少年を対象とした事業や例会を中心に行っていますが、本日は12月の「疾病予防

と治療月間」にちなみ、子どもの病気・小児がんについて、小澤先生より卓話をいただきます。

だいぶ昔ですが、ある本の中で「小児がん病棟のクリスマス会」というお話を讀んだことがあります。それは子どもたちにとっては楽しいイベントですが、親御さんや看護師さんたちにとっては、涙をこらえなければならぬものだったそうです。なぜなら、多くの子どもたちにとってそれが最後のクリスマスになるかもしれないから。そういう内容でした。今は治療の技術が進んで、小児がんで亡くなる子どもは大幅減ったそうです。しかしそれでも、今も苦しんでいる子どもやそのご家族がいます。子どもががんになることは少ないです。それでもがんになってしまったとき、親はどんなことをしてでも治そうとします。どんな遠くであっても、名医がいるときけばそこへ行き、子どもによりそうために病院の近くにアパートを借りたりするので、経済的な負担も大きいそうです。私は保険屋ですが、そんなときに子どもにかけたがん保険が非常に役立ったという話も聞いたことがあります。

以前聞いた話で、「地球の幸福の量は一定である」というものがあります。誰かが幸せを手に入れているときは、誰かが幸せでない、そうやって一定のバランスが保たれている、ということだそうです。次回はクリスマス例会となりますが、いま世界で多くの争いが起きていて、命の危険にさらされている人、そして平和な地でも重い病気や貧困に苦しんでいる人たちが大勢いる中、毎年普通にクリスマスを迎え

る事ができる我々は本当に幸せです。それに感謝するとともに、いま幸せでない誰かに何かしてあげられることはないか考える、今日の例会がそんな契機になればと思います。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

島袋 祥子会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

- 学校法人 聖路加国際大学 聖路加国際病院 小児科部長 小澤 美和 様
 - 埼玉県立特別支援学校 大宮ろう学園 校長 原田 篤 様、教諭 磯山 宜央 様
- (ご紹介:副会長 染谷 義一)



幹事報告

幹事 横溝 一樹

1. 12月18日(月)に国立競技場にて行われる、ウクライナのクラブチームとアビスパ福岡のサッカーチャリティーマッチのチケットを高橋真貴子会員よりご提供いただきました。ご希望の方は事務局までご連絡をお願いします。

2. 12月9日(土)に米山感謝の集いが開催されました。キム リャンヒさんとカウンセラーの福田美香会員は残念ながら体調不良で欠席となりましたが、会長幹事および地区米山委員会の増永委員で出席いたしましたのでご報告申し上げます。

3. 先日の地区大会にて名札をお持ち帰りになった方は事務局までお戻し下さいますようお願いいたします。



把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com

HP: http://rc-omiya-west.com/

